

令和元年度 事業報告

概要

本財団は、昭和44年（1969）の設立以来、これまで事業目的である京都市域の文化観光資源の保護と活用を図り、京都市の文化観光の発展と文化的向上に寄与するため事業の構築に取り組んできた。また、平成23年（2011）からは公益財団法人として、民間公益活動の普及向上にもつとめている。

当年度においても公益目的事業である文化観光資源保護事業、普及啓発事業及び会員事業について、当初の事業計画どおり実施し、適正な業務の遂行と透明性の高い法人運営に取り組んだ。

文化観光資源保護事業の助成事業では、募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行い、当財団の専門委員会において助成対象として選定された保護事業について、これまでと同規模の助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。また、調査研究事業においては、助成申請のあった保護事業の実地調査、記録の収集及び京都市域の文化観光資源の写真記録等の調査、収集を行った。

文化観光資源保護普及啓発事業では、計画どおりの事業を実施し、併せてウェブ等において情報発信を行い、事業の啓発と京都の文化観光資源の紹介及び保護、普及につとめた。

会員事業では、機関誌「会報」を定期発行し、三大祭観覧等の招待や文化財特別鑑賞等の諸事業の内容充実につとめ、会員から好評を得た。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、会報を通じて会員への更なる支援、協力の呼び掛けを行い併せて市民募金運動の推進として、実施事業を通じて広く支援、協力を呼びかけた。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

（1）対象事業

令和元年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

(2) 申請の応募、受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（4月1日～30日）及び申請書の受付（5月31日提出期限）を行った。

(3) 専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 11月15日

○出席者 尼崎博正委員、高橋康夫委員、小椋純一委員、伊東史朗委員、奥平俊六委員、伊達仁美委員 以上6名

○決議事項 第1号議案 専門委員会委員長及び副委員長の選任について
第2号議案 令和元年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1) 文化財所有者、管理者等が行う文化観光資源保護事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された51件について、11月15日付で、申請者に対し助成金交付内定通知を送付し、第5回みなし理事会（3月16日決議）において、助成額を決定し総額6,119万円の助成金を交付することにした。内訳は、以下のとおり。

また、申請者から保護事業報告書の提出（3月末期限）を求めた。

1) 文化財所有者、管理者の行う文化観光資源保護事業に対する助成

7件 助成金 460万円

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

43件 助成金 5,405万円

○伝統行事、伝統芸能の保存に対する助成

2件 助成金 661万円

○伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成

41件 助成金 4,744万円

・伝統行事 19件 助成金 4,430万円

・伝統芸能 22件 〃 314万円

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

1件 助成金 254万円

助成対象事業及び助成金内訳

1. 文化財所有者、管理者の行う文化光資源保護事業に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額
等持院（北区）	方丈修理事業	27,832	70
教法院（上京区）	山門修理事業	472	70
平岡八幡宮（右京区）	拝殿修理事業	1,245	70
萱尾神社（伏見区）	末社修理事業	262	70
知恩院（東山区）	土塀修理事業	359	70
禪林寺（左京区）	屏風修理事業	453	70
六道珍皇寺（東山区）	仏像修理事業	284	40
合計	7件	30,907	460

2. 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

1) 伝統行事、伝統芸能の保存に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業費	助成額	保護事業計画内容・備考
(公財) 祇園祭山 鉾連合会	865	281	祇園祭山鉾（8基）の保存修理事業

(内訳)

鈴鹿山	48	13	駒形提灯の新調
船鉾	25	8	鉾上の旗の新調
南観音山	194	65	妻板、屋根板の修理
伯牙山	129	43	御神体衣装、御沓の修理
油天神山	107	32	駒形提灯、御幣の新調
長刀鉾	69	23	真木（鉄ワッパ）の修理
占出山	93	31	竹籠の新調
放下鉾	200	66	石持の新調（加工）

保護事業者	事業費	助成額	保護事業計画内容・備考
京都五山送り火連 合会	1,606	380	各山火床等整備事業

(内訳)

大文字送り火	286	76	シガラ柵の設置等
松ヶ崎妙法送り火	247	76	遮蔽木伐採、貯水施設の補修等
船形万燈籠送り火	388	76	通路修復、貯水施設新調等
左大文字送り火	384	76	火床修理、遮蔽木伐採等
鳥居形松明送り火	301	76	床台修復、山道整備等

計 2件	2,471	661	
------	-------	-----	--

2) 伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成

○伝統行事

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,908	675
祇園祭協賛会	祇園祭山鉦巡行の執行	10,420	2,050
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火の執行	2,390	650
時代祭協賛会	時代祭行列の執行	2,170	623
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事の執行	218	12
賀茂競馬保存会	賀茂競馬行事の執行	892	25
藤森神社駈馬保存会	藤森駈馬行事の執行	350	25
糺の森流鏑馬神事保存会	糺の森流鏑馬行事の執行	557	25
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬竹伐り会行事の執行	123	13
花脊松上げ保存会	花背松上げ行事の執行	120	25
広河原松上げ保存会	広河原松上げ行事の執行	200	25
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ行事の執行	70	20
小塩松上げ保存会	小塩上げ松行事の執行	14	5
烏相撲保存会重陽社	烏相撲行事の執行	79	10
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭行事の執行	360	25
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供行事の執行	18	6
日野裸踊保存会	日野裸踊行事の執行	23	6
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭行事の執行	919	200
桂川舟渡し保存会	松尾祭桂川舟渡御の執行	64	10
計	19件	21,895	4,430

○伝統芸能の部

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	330	20
壬生大念仏講	壬生狂言の公開	294	15
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言の公開	49	15
千本えんま堂	千本えんま堂狂言の公開	64	15
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言の公開	70	15
久世六斎保存会	久世六斎の公開	65	15
中堂寺六斎会	中堂寺六斎の公開	60	15
梅津六斎保存会	梅津六斎の公開	65	15
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎の公開	77	15
千本六斎会	千本六斎の公開	47	15
壬生六斎念仏講中	壬生六斎の公開	55	15
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎の公開	23	7
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎の公開	50	10
上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎の公開	32	10
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花の公開	43	13
今宮やすらい会	今宮やすらい花の公開	130	13
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花の公開	80	13
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花の公開	50	13
久多花笠踊保存会	久多花笠踊の公開	85	25
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊の公開	197	20
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊の公開	89	10
番匠保存会	上棟祭の公開	43	10
計	22件	1,998	314
合計	41件	23,893	4,744

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全等に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額
(公財)京都古文化保存協会 (左京区)	文化財周辺松喰虫等駆除事業	781	254
計	1 件	781	254

単位：万円

合 計	5 1 件	58,052	6,119
-----	-------	--------	-------

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。
- (2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財保護連絡協議会、文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめ、各機関と協調して事業の効果的な取り組みについて検討した。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大家事の各協賛会等の会議に参画し、行事の円滑な実施に協力した。

- 1) 令和元年度文化財保護連絡協議会 開催日：1月21日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、同消防局予防部、公益財団法人京都古文化保存協会、公益財団法人京都文化財団、当財団の7者で構成し、情報交換等を行うとともに、令和元年度文化財の保護に関する巡回よろず相談を共同で実施し、相談者に対し当財団の助成事業について説明を行った。

実施日：9月26日 開催場所：京都文化博物館 別館2階講義室

- 2) 文化財防災対策連絡会（今年度事務局 京都府文化財保護課）

開催日：第1回 6月14日 第2回 10月8日 第3回 新型コロナウイルス感染症の影響により延期（時期未定）。

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、同府民生活部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等に関する情報交換を行った。

3) 四五行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

四五行事の円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり、協議を行った。

II. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 刊行物の発行

文化観光資源公開事業において、公開対象文化財について理解を深めてもらうため解説書を作成し、参加者に配付した。

2. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の文化財特別鑑賞及び公演事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

(1) 京の文化財探訪 初秋の「実相院」と「岩倉具視幽棲旧宅」を訪ねて

「実相院」「岩倉具視幽棲旧宅」文化財特別鑑賞

実施期間 10月11・12日

参加者数 152名（一般・会員・招待者含む）

*台風接近に伴い12日は午後から中止

(2) 財団設立50周年事業

都の賑わい 祭 神人和楽のまつり「祇園祭」

会場 ロームシアター京都 サウスホール

実施日 12月15日

参加者数 560名（一般・会員・招待者含む）

内容 記念講演 「祇園祭の今昔とこれからの課題」

- (公財)祇園祭山鉾連合会前理事長 岸本 吉博氏
- 実演 祇園祭山鉾保存会による祇園囃子と祇園祭ゆかりの郷土芸能
- ・都に蔓延する疫病を鎮める「やすらい花」
玄武やすらい踊保存会
 - ・神輿を先導し悪霊を払う「剣鉾差し」
瀧尾神社昇龍会
 - ・長刀鉾のお囃子と稚児舞
(公財)長刀鉾保存会
 - ・「祇園囃子」から「蜘蛛と獅子の対決」
壬生六斎念仏講中

3. ウェブサイトによる発信事業

ホームページを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。また、法人情報の公開を積極的に行った。

4. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の 11 名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰することとなり、表彰式を 3 月 6 日、第 5 回通常理事会終了後に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため延期となった。

〈被表彰予定者（順不同・敬称略）〉山本 正信（賀茂競馬保存会）、辻 昇一（藤森神社駆馬保存会）、高見 信之（広河原松上げ保存会）、中山 修一（北白川伝統文化保存会）、松本 道和（鞍馬火祭保存会）、松原 ちえ（蹴鞠保存会）、西村 一孔（吉祥院六斎保存会）、阪本 敦（今宮やすらい会）、河原 康博（久多宮の町松上げ保存会）、橋本 順子（市原ハモハニ講中）、山田 茂夫（一乗寺郷土芸能保存会）

5. 文化観光資源に関する事業の後援

文化観光資源の保護と活用を目的とする下記の事業を後援し、事業協力を行った。

- (1) 「令和元年度ふるさと文化財の森 森がよみがえる日本の技術 2019 公開セミナー」の後援

11 月 1・2 日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会

文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示、体験等が行われた。

- (2) 第 54 回「京の冬の旅」の後援

1月1日～3月22 主催：公益社団法人京都市観光協会

京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(3) 令和2年「鉦始め・木遣音頭」の後援

1月2日 主催：番匠保存会

6. その他

(1) 報道機関による啓発活動の推進

各種報道機関に対し、当財団の実施事業のつど発表し、事業紹介と活動についての理解と支援を呼びかけた。

III. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第125, 126, 127号の3号を各1,500部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

○「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.125 (元.8.1 付)	特集京都の文化遺産の保存と継承(2) 「京都市左京区久多一生活文化の継承一」伊達仁美(京都造形芸術大学教授、当財団専門委員会委員)、平成30年度文化観光資源保護助成事業「修復された文化遺産一未指定文化財の保存修理一」、保護財団の活動
No.126 (元.12.1 付)	「財団設立50周年を迎えて」和田林道宜(当財団理事長)、寄稿「財団設立50周年に寄せて一文化遺産の保護をめぐる一」高橋康夫(京都大学名誉教授、当財団専門委員会副委員長)、特集京都の文化遺産の保存と継承(3) 「京都の鉦」伊達仁美(京都造形芸術大学教授、当財団専門委員会委員)、保護財団の活動
No.127 (2.3.1 付)	「財団設立50周年に寄せて」尼崎正博(京都造形芸術大学教授、当財団専門委員会委員長)、設立50周年事業「都の賑わい祭 神人和楽のまつり 祇園祭」、保護財団の活動

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待、刊行物の案内

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を実施並びに文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った。

○京の三大祭観覧招待

葵祭	(5月15日)	京都御苑建礼門前	観覧者数	210名
祇園祭前祭	(7月17日)	京都市役所前	〃	290名
時代祭	(10月22日)	京都御苑建礼門前	観覧者数	230名

○京都古文化保存協会主催

「平成31年度京都春季非公開文化財特別公開」招待

実施期間 4月26日～5月6日 申込者数 229名

○賀茂御祖神社糺の森流鏑馬神事特別観賞

実施期間 5月3日 参加者数 43名

○京の文化財探訪 初秋の「実相院」と「岩倉具視幽棲旧宅」を訪ねて

「実相院」「岩倉具視幽棲旧宅」文化財特別鑑賞

実施期間 10月11・12日

参観者数 152名 (一般参観者含む)

*台風接近に伴い12日は午後から中止

○世界遺産「真言宗総本山教王護国寺—東寺の国宝—」文化財特別鑑賞

実施日 11月9日 参加者数 42名

講演 「東寺御影堂と弘法大使信仰」

講師 新見 康子氏 (東寺文化財保護課長)

○財団設立50周年事業 都の賑わい 祭 神人和楽のまつり「祇園祭」

会場 ロームシアター京都 サウスホール

実施日 12月15日

参加者数 560名 (一般・招待者含む)

○京都市観光協会主催「第54回京の冬の旅 非公開文化財特別公開」

実施期間 1月10～2月29日 主催：公益社団法人京都市観光協会

見学者延べ数 354名

○京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者に抽選のうえ30名に進呈

3. 寄附者の顕彰及び会員登録状況

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、下記の2法人、2名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈することとし、その贈呈式を3月6日、第5回通常理事会終了後に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止

のため延期となった。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者（敬称略）

（法人の部）伸和建设株式会社、山田繊維株式会社

（個人の部）伊勢 初枝、中村 範夫

また、新たな会員の拡充につとめるため、実施事業において活動案内パンフレットを設置し、協力の呼びかけを行った。

○会員登録状況（令和2年3月31日現在）

会員区分	法人	個人
特別会員	161	205
普通会员	4	173
賛助会員	9	88
計	174	466

注）平成24年度より新会員規程による会員区分に基づいている。

IV. 法人運営

1. 募金活動

（1）募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況

- ・一般寄附金 2,139,000 円
- ・特別寄附金 8,026,000 円

京都市文化観光資源保護基金令和元年度末残高

2,342,557,581 円

2. 会議開催状況

（1）理事会

第1回通常理事会 5月29日

議案 顧問の選任について、任期満了に伴う役員の改選について、基本財産寄付の公益目的保有財産への組み入れの承認について、令和元年度常勤理事の役員報酬の承認について、評議員会の招集について、平成30年度事業報告の承認について、平成30年度計算

書類の承認について

報告事項 事業活動状況について、文化観光資源デジタル保存・活用事業について

出席 理事 9 名、監事 1 名

第 2 回みなし理事会 6 月 24 日（決議の省略）

議案 代表理事・理事長並びに副理事長，業務執行理事・専務理事，常務理事の選任について

出席等 提案書に対し、理事 14 名全員の書面による同意の意思表示、監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 3 回みなし理事会 8 月 30 日（決議の省略）

議案 任期満了に伴う専門委員の選任について

出席等 提案書に対し、理事 14 名全員の書面による同意の意思表示、監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 4 回みなし理事会 2 月 7 日（決議の省略）

議案 令和元年度文化観光資源の所有者、管理者に対する助成金の交付について

出席等 提案書に対し、理事 14 名全員の書面による同意の意思表示、監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第 5 回みなし理事会 3 月 16 日

議案 令和 2 年度事業計画及び収支予算（案）、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について、助成金交付要綱の一部改正(案)について

出席等 提案書に対し、理事 13 名（理事 1 名逝去）全員の書面による同意の意思表示、監事 2 名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

（2）評議員会

第 1 回定時評議員会 6 月 24 日

議案 任期満了に伴う役員の改選について、基本財産寄附金の公益目的保有財産への組み入れの承認について、令和元年度常勤理事の役員報酬の承認について、平成 3 0 年度事業報告の承認について、平成 3 0 年度計算書類の承認について

報告事項 令和元年度文化観光資源保護事業助成申請相談状況、公益財団

法人京都市文化観光資源保護財団設立50周年事業(案)について
出席 評議員15名、理事長、専務理事、常務理事、監事1名
第2回みなし評議員会 11月25日(決議の省略)

議案 評議員選任の件

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示
があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会 5月13日

議案 平成30年度 業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事、事務局職員2名

3. 役員の変動

(1) 第1回通常理事会承認(5月1日付)

就任 顧問 山本 恵一(京都市会議長)

退任 顧問 寺田 一博(前京都市会議長)

(2) 第1回定時評議員会による承認(6月24日付)

任期満了に伴う役員の変任

就任 理事 和田林道宜(重任)

〃 柏原 康夫(重任)

〃 北村 康二(重任)

〃 北村 信幸(重任)

〃 湯浅 光彦(新任)

〃 村上 圭子(重任)

〃 神山 俊昭(重任)

〃 田中安比呂(重任)

〃 久保 成人(重任)

〃 永島 宣彦(重任)

〃 佐々木隆之(重任)

〃 鬼頭 誠司(新任)

〃 加藤 好文(重任)

〃 川井 仁(重任)

退任 〃 曾我 修

〃 近 浩二

(任期 令和元年6月24日～令和3年6月23日 2年間)

就任 監 事 池坊 専永 (重任)

〃 小澤 淳二 (重任)

(任期 令和元年6月24日～令和5年6月23日 4年間)

就任 〃 詫間 直樹 (重任)

〃 伊東 建彦 (新任)

〃 小野 善三 (重任)

〃 奥村 浩二 (重任)

〃 高畑 重勝 (重任)

〃 八田 英二 (重任)

〃 仲谷 善雄 (重任)

〃 本多 和夫 (重任)

〃 中村 陽 (重任)

〃 森 壽雄 (重任)

〃 武田 昭英 (重任)

〃 井桁 雄弘 (重任)

〃 田代 玄英 (重任)

〃 有馬 頼底 (重任)

〃 岸 舜栄 (重任)

〃 森 孝忍 (重任)

〃 大林 剛郎 (重任)

〃 前川 重信 (重任)

〃 鍋岡 正俊 (重任)

〃 咄下 泰男 (重任)

〃 榊田 隆之 (重任)

〃 白波瀬 誠 (重任)

〃 細尾 真生 (重任)

〃 松井 道宣 (重任)

〃 奥田 末子 (重任)

退任 〃 大角 亜紗子

(任期 令和元年6月24日～令和5年6月23日 4年間)

(3) 第2回みなし理事会による承認 (6月24日付)

就任 代表理事・理事長 和田林道宜

業務執行理事・専務理事 北村 康二

副理事長 柏原 康夫

常務理事 北村 信幸

第2回みなし評議員会の承認（11月25日付）

就任 評議員 松山 侑弘

辞任 評議員 田代 玄英

4. 専門委員及び同委員長、副委員長の選任

○任期満了に伴う専門委員の選任(第3回みなし理事会による承認 8月30日付)

氏名	職名	専門分野	備考
尼崎 博正	京都造形芸術大学教授	庭園史	再任
小椋 純一	京都精華大学教授	植生学	〃
伊東 史朗	和歌山県立博物館館長	美術史（彫刻）	〃
高橋 康夫	京都大学名誉教授	建築史	〃
奥平 俊六	大阪大学名誉教授	美術史（絵画）	〃
伊達 仁美	京都造形芸術大学教授	民俗学	〃

○専門委員会委員長並びに副委員長の選任(専門委員会による決議 11月15日付)

委員長 尼崎 博正 委員

副 〃 高橋 康夫 〃

(任期 令和元年10月1日～令和3年9月30日 2年間)

5. 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事・代表理事 和田林道宜 8月27日（重任登記）

理事 柏原 康夫、佐々木隆之、神山 俊昭、加藤好文

久保 成人、永島 宜彦、北村 信幸、村上圭子

田中安比呂、川井 仁、北村 康二、

8月27日（重任登記）

鬼頭 誠司、湯浅 光彦 8月27日（就任登記）

近 浩二、曾我 修 8月27日（辞任登記）

監事 池坊 専永、小澤 淳二 8月27日（重任登記）

評議員 大林 剛郎、奥田 末子、田代 玄英、中村 陽

前川 重信、森 孝忍、森 壽雄、岸 舜栄

細尾 真生、奥村 浩二、宅間 直樹、八田 英二

咄下 泰男、本田 和夫、鍋岡、正俊、小野 善三

松井 道宜、高畑 重勝、白波 瀬誠、武田 昭英

榊田 隆之、仲谷 善雄、井桁 雄弘

伊藤 建彦
大角亜紗子

8月27日（重任登記）
8月27日（就任登記）
8月27日（退任登記）

6. 行政庁への届出・提出事項

事業報告書等に係る提出	6月26日付	提出
理事・評議員変更の届出	9月27日付	〃
評議員変更の届出	1月14日付	〃
令和2年度事業計画書等に係る提出書	3月30日付	〃